

安全安心担当者	課長
---------	----

氏名		地区	
住所・電話		生産組合	
品名	TEL () -	出荷区分	出荷契約米

※JA記入
記録簿確認
確認者氏名
(地区担当者)

JA米の条件

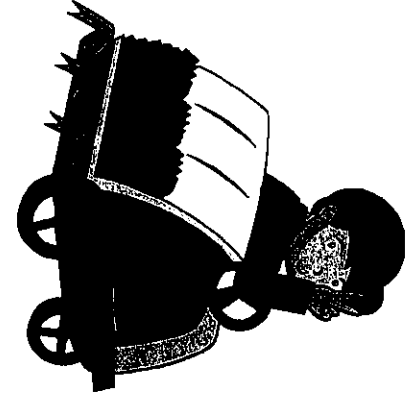
- ①品種が確認できた種子により栽培した米穀
- ②登録検査機関で受検された米穀
- ③栽培記録簿の記帳内容をJAが確認し適切であると認めた米穀

- ★ 記帳は品種毎にお願いします。
- ★ 作業を終えたら、忘れずに記帳しましょう。
- ★ 出荷の有無を問わず、生産者全員記帳・提出をお願いします。
- ★ 提出は最寄の支店か種子センターへお願いします。

令和6年産米 栽培記録簿

(GAP確認シート付)

～水稲種子 主食米用～



区分	実施日	備考
収穫	月 日～月 日	()
乾燥	月 日～月 日	()
調製	月 日～月 日	()
出荷日	月 日～月 日	()



作業終了後の記入を徹底しましょう。
記入漏れやGAPシートのチェック漏れに注意しましょう。

【収穫・乾燥・調製作業】

作業内容	チェック時期 (目安)	備考
乾燥・調製作業の開始前に、各設備の整備・点検、故障箇所の修理を済ませたか。	8月～9月	✓
コンバイン、乾燥機、フレコン、コンテナ等の清掃を徹底しましたか。	8月～9月	
乾燥機、フレコン等に搬入品種名を明示し、張り込み品種の間違いを防ぎましたか。	8月～10月	
異なる品種を同じ日に収穫しない、品種の切替時にはコンバインの清掃を徹底するなど、計画的に収穫的に行いましたか。	8月～10月	
穀黄化率(90%)などを確認し、適期収穫を行いましたか。	8月～10月	
乾燥は適切な温度管理で行いましたか。	8月～10月	
品種名、農家名が正しいか必ず確認し、搬入を行いましたか。	8月～10月	

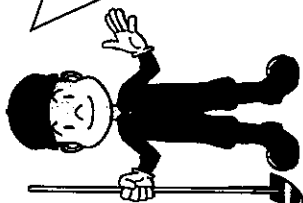
【栽培全般】

「種もみ生産総点検子エックシート」を作業場などに掲示し、作業ごとに確認しましたか。

『とよまGAPI』の実践でより良い農業を！

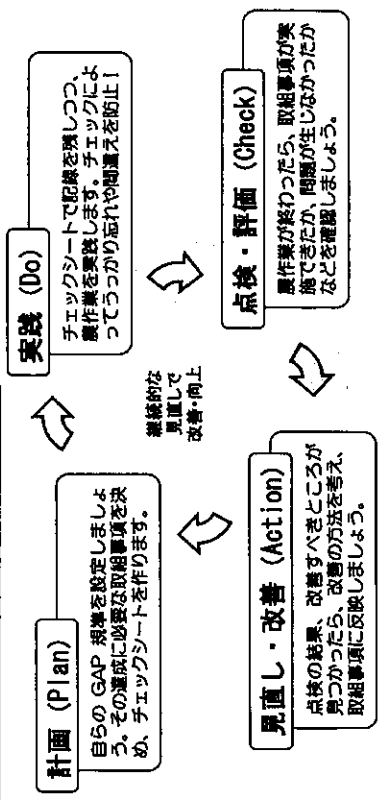
- ①安全な農産物の生産
生産した農産物が人の健康にとって安全かどうか
- ②環境の保全
農産物の生産活動によって周辺環境が壊されていないかどうか
- ③農産物の安全確保
農産物の安全が確保されているかどうか

上記3つの視点から農民生産活動に潜むリスク(危険)を事前に把握・分析しておき、リスクの発現を未然に防ぐことで、結果として『良い』農民生産活動とする取組みが『GAP』です。



「GAPI」の実践

「計画」に対し「実践」、「点検・評価」、「見直し・改善」を繰り返す「PDCAサイクル」を回し、工程管理を行っていくことがGAPの実践になります。



令和6年度米 栽培記録簿・GAPチェックシート

氏名

品種	出荷契約米
面積	区分 a

※疑問に該当する場合は、右側のチェック欄に✓を記入して下さい。

作業時期 (目安) チェック

【作付け計画・春作業】

購入先:	作業名	作業月日
数量: kg	耕起	月 日 ~
播種日: 月 日 ~	荒代かき	月 日 ~
購入先:	代かき	月 日 ~
数量: 箱	田植え	月 日 ~
株数: 株植え	中干し	月 日 ~

栽培研修会への参加やパンフレット(管理特報、栽培ごよみ等)の活用などにより情報を収集しましたか。	3月	✓
出穂期や形態の類似した品種を作付しない、新しい品種は必ず転作田跡にするなど、計画的な作付を行いましたか。	3月	
配布された原種を確認し、浸種袋には耐水性の品種名ラベルをつけ保証票を入れましたか。	4月	
苗箱は品種ごとに色の違うシールを貼るなど、明確に区分しましたか。	4月	
品種の切替時には、作業場や播種機などの清掃を徹底しましたか。	4月	
ハウス内では品種ごとに区分して並べ、品種名の札を立てる境界を板で仕切るなど品種の違いを明確にしましたか。	5月	
田植え前に、作付計画に合った指定採種圃の看板を設置しましたか。	5月	
植付け品種の確認を行い、苗箱の取り違いを防ぎましたか。	5月	

【環境保全】

稲わらは野焼きせず、堆肥の原料や飼料として利用したり、ほ場にすき込むなど、適正な処理をしましたか。

【肥料の適正使用】

基肥、穂肥(追肥)は「栽培ごよみ」による施用基準や生育量に応じて、適正に施用しましたか。

【肥料袋等の廃プラスチックの適正処理】

肥料袋、農薬の空容器などは農協等の廃プラ回収により適正に廃棄しましたか。

【購買伝票の保存と使用状況の記帳】

肥料・農薬の購買伝票を保存し、使用状況を栽培記録簿に記帳しましたか。

区分	肥料名	施用月日	施用量
土づくり	珪酸石灰(粒)	月 日 ~	kg/10a
	シリカパンチF		
	トップバッター		
	アサヒニューテツ		
	発酵ケイフィン(粒)	月 日 ~	kg/10a
基肥	苦土重焼燐	月 日 ~	kg/10a
	基肥206号	月 日 ~	kg/10a
中間追肥	エスアイ加里らくだ	月 日 ~	kg/10a
穂肥	①追肥3号	月 日 ~	kg/10a
	②追肥3号	月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a

区分	農薬名	使用月日	使用量
育苗防除等	ケミクロンG粒剤	月 日 ~	1000倍液
	シードラッグ水和剤	月 日 ~	400倍液
	モミガードC・DF	月 日 ~	200倍液
	スミチオン乳剤	月 日 ~	1000倍液
	カスミン液剤	月 日 ~	倍液 ml/箱
苗箱施薬	ヨーバルプライムEV箱粒剤	月 日 ~	g/箱
		月 日 ~	g/箱
	マーシエット1キロ粒剤(初期)	月 日 ~	kg/10a
	かねつぐ1キロ粒剤(初期)	月 日 ~	kg/10a
	プライリティ1キロ粒剤(-1発)	月 日 ~	kg/10a
除草剤		月 日 ~	g/10a
		月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
	オリゼメート1和粒剤(出穂25日前)	月 日 ~	kg/10a
		月 日 ~	kg/10a
本田防除	ブラシン粉剤DL [早生は除く]	月 日 ~	kg/10a
	ブラシントレバリダ粉剤DL	月 日 ~	kg/10a
	ラブサイドキラップ粉	月 日 ~	kg/10a
	スタークル粉剤DL [早生]	月 日 ~	kg/10a
	ラブサイドK2フロアブル	月 日 ~	kg/10a

【農薬の適正使用】

農薬は「稲作ごよみ」や農薬ラベルに記載されている使用量、時期、回数を守って使いましたか。	随時	✓
種子消毒の廃液と余った消毒済み種子は、適正に処理しましたか。	4月~5月	
田植え後、早期にマーシエット又はかねつぐ(初期剤)を散布し、漏生稲の発生防止に努めましたか。	5月	
代かき後の濁水の流出防止や除草剤施用後7日間の止水管理をしましたか。	4月~5月	
農薬散布時は適切な防護マスク、手袋、長そで、長ズボンを適切に着用しましたか。	随時	
周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止と防除前の周知に努めましたか。	随時	
防除器具は使用前に洗浄されている事を確認し、使用後は速やかに洗浄を行い、洗浄水は河川等に流出しないように適正に管理しましたか。	随時	
農薬や燃料等は毒物及び劇物取締法や消防法に基づいて安全に管理していますか。	随時	
防除には防除特報(特報など)を活用し、発生状況に応じた効果的な防除を行いましたか。	随時	

漏生稲は条間の見える6月中旬までに抜き取りましたか。	6月	
異茎株・品種は「管理特報」等の情報により、見やすい時期を逃さず、抜き取りを実施しましたか。	7月~8月	
ほ場審査での指摘に基づき、速やかに抜き取り等の作業を実施しましたか。	8月	
遅く出穂する異茎株など、定期的に見回りをを行い、成熟期まで、抜き取りを実施しましたか。	8月	
出穂期から20日間の湛水管理(田面2~3cm程度)をしましたか。(稲体活力維持、カドミウム吸収抑制)	8月~9月	

区分	実施日	備考
抜き取り	月 日 ~	
湛水管理	月 日 ~	